

つづり方フォーラム



大阪 二年 えりん

九月のはじめごろ、朝おきると外はくもっていました。

朝ごはんを食べていると、でん話がプルルルルとなりました。わたしがとつて、

「はい、吉本ですけど、どちらさんですか。」

と言いました。でん話のあい手のおっちゃんが、

「お父さんとかわって。」

とやさしいこえで言いました。わたしは、

「お父さん、でん話。」

と、お父さんのところへもっていききました。お父さんは、

「ありがとうございます。」

とでん話をもちました。それからでん話のおっちゃんに何ども、

「はい、はい。」

と言って話していました。

でん話をきっておとうさんは、

「きようは、しごと、休みやて。」

とつまらなさそうに言いました。ふとんをたたんでいたお母さんがためいきを

ついて、

「あしたは晴れたらいいのになあ。」

と言いました。お父さんも、

「ほんまやなあ。」

とためいきをつきました。

お父さんは、水どうエジのしごとをしています。雨の日や雨がふりそうな日は、朝、社長さんからでん話がかかってきてしごとが休みになります。そんな時お父さんは、ぼうっとしたり、テレビを見たりしています。雨の時はいつもお母さんは、

「ああ、お金もうからんなあ。」

と言っています。

ごはんを食べてからわたしは、ティッシュでてるてるぼうずを作りました。てるてるぼうずを、外のせんたくのさおにかけました。それからわたしは学校に行きました。

つぎの日は、朝から晴れていました。わたしが学校に出るより早くお父さんは、しごとに行きました。

(指導 増田俊昭)